

倫理様式第 1 号
令和 3 年 4 月 21 日
承認番号 21-1

1 研究題目

薬剤性肺障害の診断や予後予測と FeNO の相関性の解

2 研究の対象

好酸球性炎症の関与が疑われる薬剤性肺障害患者

3 研究目的

薬剤性肺障害の原因については様々であるが、薬剤に対する過敏反応（アレルギー性の慢性気道炎症）の関与が示唆されている。呼気中の一酸化窒素（FeNO）の測定は、アレルギー性（好酸球性）慢性気道炎症（気管支喘息、好酸球性肺炎）を有する患者の診断や治療効果の判定に使用されている。近年では間質性肺疾患の鑑別診断やステロイド治療の反応性の指標にもなるとされている。薬剤性肺障害の診断項目に従って診断された患者において、薬剤性肺障害の臨床病型と FeNO 値との関連や診断時の FeNO 値と予後予測因子としての可能性について検討する。

4 研究期間

臨床倫理委員会で承認後～2025 年 7 月 15 日

5 研究に用いる試料・情報の種類

患者基本情報、薬剤性肺障害診断項目、臨床所見、胸部 X 線・CT 検査結果、血液検査結果項目、FeNO 測定値、呼吸機能検査結果、気管支鏡検査結果、肺生検、保存血清 2ml または増量採血 4ml 等

6 研究責任者

呼吸器内科：片岡 幹男